

♪ちゃんとやってるんだな～と思える

子ども・子育て会議開催のポイント♪

2012.1.18 にっぽん子育て応援団

- 多様な状況の当事者をバランスよくいれている
 - 遠慮なく話してもらいたいかな雰囲気づくり その中からしっかりキーワードを抽出していく。(分野、部署、既存サービスに発言をあてはめて「やっています」と「回答」しない) ゼロベースの発想も必要
 - 地域の子育てサークルに協力してもらいなどして、当事者にも傍聴をしっかり呼びかける。中間発表はフォーラムなどでプロセスを見せる
 - 傍聴からも意見を吸いだせるしくみ (感想・意見シートを配る)
 - ニーズ調査のための声のひろいかた
 - 吸いだした意見をどう扱い、それをどう報告するか
 - 制度の狭間、行政サービスの限界部分についてもどんな工夫ができるか話し合う
 - 討議のプロセスの情報公開の工夫 (ビデオを後日閲覧可能にする、資料を公開する、定期的に発信する等)
 - 十分に議論できる材料提供 事前の資料提供、用語や制度、経緯などのレクチャー
 - 議題だけを「こなす」のではなく、積極的に意見交換できたり、他市の事例紹介等をしていく場の設定
 - 作業部会の設置、委員のメーリングリストの開設、先進事例のヒアリングや見学 (行政・事務局だけでなく委員を巻き込んで実施していく)
- ★まだまだ工夫はできそうです。本日みなさんからアイディアをいただいたものを盛り込んでにっぽん子育て応援団でも周知していきたいと思えます。